

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-231378

(43)公開日 平成 6 年(1994) 8 月19日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 8 B 17/00	F	4233-5G		
5/00	C	4234-5G		
G 0 9 F 13/22	D	7319-5G		

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平5-15281

(22)出願日 平成 5 年(1993) 2 月 2 日

(71)出願人 590002367

小林 操二

埼玉県川口市本町 2 - 3 - 16

(72)発明者 小林 操二

埼玉県川口市本町 2 - 3 - 16

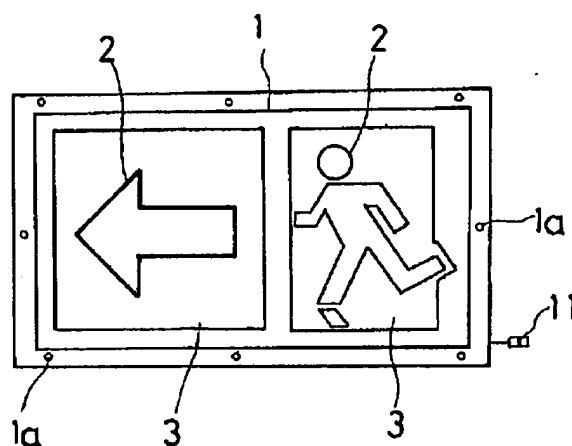
(74)代理人 弁理士 大橋 弘

(54)【発明の名称】 避難口又は避難通路誘導装置

(57)【要約】

【目的】 身を低くして或いは這って避難する際に良く見える避難装置を得たい。

【構成】 火災等が発生すると、これを感知部 4 で感知して E L 3 を駆動することにより避難方向を表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ELを用いた表示部、このELに電力を供給する電源部、前記ELと電源部間の回路を常時又は非常時にONにしてELを発光又は点滅させる制御部、異常事態を感知して前記制御部に対して信号を出力する感知部から成る避難口又は避難通路誘導装置。

【請求項2】 感知部が火災報知器又は温度センサ又は煙センサ又はガス漏れセンサから成る請求項1記載の避難口又は避難通路誘導装置。

【請求項3】 電源部から供給される電力で駆動される音声部を設けると共にこの音声部をELと同時に駆動するように構成して成る請求項1又は2記載の避難口又は避難通路誘導装置。

【請求項4】 装置全体を偏平なケース内に収納すると共にこのケース正面側にELを配置し、ケースの裏面に巾木又は壁に対する固定部を設けて成る請求項1又は2又は3記載の避難口又は避難通路誘導装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、火災等の非常事態が発生した際に、室内に居る者を安全に避難口へ誘導するための装置に関する。

【0002】

【従来技術】建物には避難口があり、この避難口には誘導灯が取り付けられている。

【0003】

【従来技術の課題】しかし、上記誘導灯は避難口の上部に取り付けられているため、煙の無い状態においては有効であるが、煙が発生するとこの煙に隠れてしまい、視認できなくなる。又、煙や有害ガスから安全に避難するためには身を低くして、或いは這って避難することが必要であるが、このような状況で避難すると高い位置にある誘導灯は煙に隠れて見えなくなってしまう、避難方向が判らなくなる。

【0004】本発明の目的は、身を低くして或いは這って避難する際に安全に誘導できる非常時用の誘導装置を提供することである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の構成は次のとおりである。

【0006】ELを用いた表示部、このELに電力を供給する電源部、前記ELと電源部間の回路を常時又は非常時にONにしてELを発光又は点滅させる制御部、異常事態を感知して前記制御部に対して信号を出力する感知部から成る避難口又は避難通路誘導装置。

【0007】感知部は火災報知器又は温度センサ又は煙センサ又はガス漏れセンサから成る。装置には電源部から供給される電力で駆動される音声部を設けると共にこの音声部を感知部からの信号によりELと同時に駆動するように構成してもよい。又、装置は全体を偏平に形成

し、この裏面に巾木又は壁に対して固定できるように、粘着剤又はテープ又は金具等を取り付ける。

【0008】

【作用】感知部が火災とか煙を感知すると、この信号により制御部がELの電源回路をONとなし、ELを発光又は点滅させる。このELは装置が床に近い壁或いは幅木の処に取り付けられているため、身を低くした場合、或いは這って避難する際に良く判り、迅速に避難行動ができる。

【0009】

【実施例】図1、2、3、4に本発明装置を示す。1は固定部1a付の偏平なケース（誘導灯）にして、このケース1の正面にはEL3を用いた表示部2が構成されていると共に周囲には固定部1aが構成されている。4は、火災、煙、温度、有害ガス等を感知するための感知部、5は電池又はACを電源とする電源部、6は制御部にして、感知部4からの信号を受けてEL3の電源をONにしてEL3を発光又は点滅制御する。7は火災報知制御盤、8は信号検出制御回路及びバックアップ回路、9はEL・ブザー制御回路、10はブザーであって、感知部4が例えば火災を感知すると、EL・ブザー制御回路9はEL3を発光（点滅）させると同時にブザー10を鳴動させることにより、避難口或いは避難通路方向を表示する。図1において、11はコネクタである。

【0010】なお、ケース1の固定手段としては、両面粘着テープを用いるようにしてもよい。図4は本発明を利用した誘導システムにして、12はコントロールボックスである。

【0011】

【発明の効果】本発明は以上のように、避難口或いは通路を表示して誘導する装置を床に近い部分に取り付けるようにしたので、身を低くして或いは這って避難する際に、避難口、方向が判らなくなるという心配がない。

【0012】又、ELで表示するので、耐久性に富み、消費電力は少なくて済み、しかも従来の誘導灯のように蛍光灯を内蔵していないので、小型、偏平化が可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る避難装置の正面図。

【図2】本発明に係る避難装置の側面図。

【図3】制御回路の説明図。

【図4】本発明を利用した誘導システムの説明図。

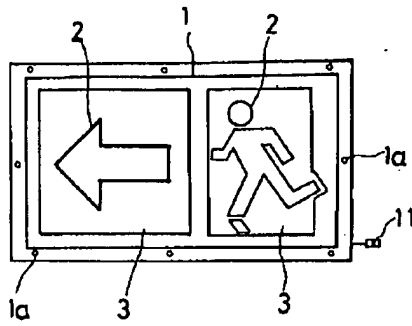
【符号の説明】

- 1 ケース
- 2 表示部
- 3 EL
- 4 感知部
- 5 電源部
- 6 制御部
- 7 火災報知制御盤

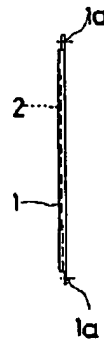
- 3
8 信号検出制御回路
9 EL・ブザー制御回路
10 ブザー

- 11 コネクター
12 コントロールボックス

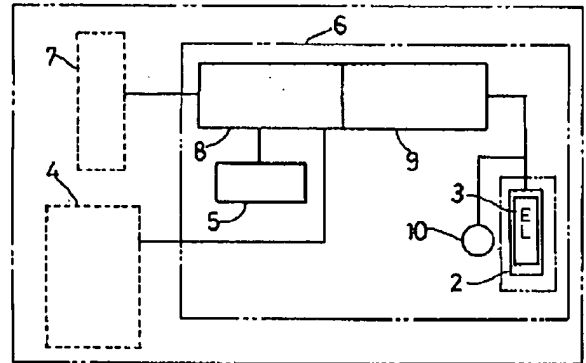
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

